

職業

1 学年：週 1 時間 2 学年：週 1 時間 3 学年：週 1 時間

■目標

- 職業に係る見方・考え方を働かせ、職業など卒業後の進路に関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- ・職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
 - ・将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
 - ・より良い将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

■学習内容

＜職業生活＞	①勤労に対する意欲や関心を高め、他者と協働して取り組む作業や実習等に関わる学習 ②職業に関わる事柄について、他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習
	【具体的な内容】 ①勤労の意義、目標と成果、自分と他者との役割、他者との協力、貢献する喜び ②職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能、職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法、材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術、使用する道具や機械等の特性や扱い方、作業の確実性や持続性、巧緻性等、自らの役割、自分の成長や課題、安全や衛生及び作業の効率、職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方
＜情報機器の活用＞	・職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習
	【具体的な内容】 ・情報セキュリティ及び情報モラル、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器、情報をまとめる、表現
＜産業現場等における実習＞	・産業現場等における実習
	【具体的な内容】 ・卒業後の進路、自己の成長、課題解決、表現

■評価の方法

＜知識及び技能＞	＜思考力、判断力、表現力＞	＜学びに向かう力、人間性＞
・授業中の発言、様子 ・ワークシートの記述、回答	・授業中の発言、様子 ・ワークシートの記述、回答	・授業中の発言、様子 ・自らの生活に生かそうとする態度

■生徒へのメッセージ

社会に出て、働く人になるために必要なことを学びます。
なぜ働くのか、働くことで自分や他人、社会にどのような影響を与えるのか、職場でのコミュニケーションや制度などについても学びます。
学びを通して、自分はどのように働きたいのか、どのような社会人になりたいのかを一緒に考えていきましょう。